

県民の皆さんとめざす姿

東紀州地域は多様で豊かな自然や歴史風土の中で、豊かでゆとりある暮らしが実現できる地域です。地域の人びとだけでなく都市部の人びとにとっても魅力的な地域をめざし、地域のさまざまな主体が連携し、地域の自然や歴史とともに生きる暮らしを大切にしながら、地域経済が活性化され、地域社会が健全に維持されています。

現状と課題

- 東紀州地域は、地理的条件もあり地域経済が低迷しており、就労の場が少ないことから、若年層が流出し、過疎・高齢化が進行するなど地域の活力が低下しています。このままでは、県内他地域との経済的な格差がますます拡大するだけでなく、地域社会そのものが維持できなくなることも危惧される状況にあります。
- 平成5（1993）年度の東紀州地域活性化調査以降、東紀州体験フェスタ、熊野古道の世界遺産登録、集客交流施設である熊野古道センターや紀南中核的交流施設のオープン、高速道路網整備の進展など、これまでのさまざまな取組の成果が着実にあらわれ始めています。
- 平成23（2011）年9月の台風12号等により東紀州地域は甚大な被害を受け、観光面でも大きな影響が出ていることから、今後、この復活に向けた取組を推進していく必要があります。
- 平成25（2013）年度までの高速道路ネットワークの概成に向けた道路網の整備、平成26（2014）年の「紀伊山地の霊場と参詣道」世界遺産登録10周年は、今後の地域活性化と地域づくりにとって大きなチャンスであることから、引き続き、地域のさまざまな主体と連携して東紀州地域の振興を図っていく必要があります。

変革の視点

東紀州地域の経済が活性化し、地域の人びとが魅力ある地域としての誇りを持って生きがいのある生活がおくれるよう、これまで以上に、地域の人びとが熊野古道を核とする地域資源の持つ価値や魅力に気づき、守り、伝えていく取組を大切にしながら、さまざまな主体と一体となって、観光振興、産業振興、まちづくりを推進します。さらに、これまで取り組んできた地域の魅力づくりに加え、南部地域の活性化の視点からも、東紀州地域活性化の取組を進めます。

平成27年度末での到達目標

台風12号等の災害復興が進み、これまでの熊野古道を核とする地域の資源や魅力を生かした観光振興、産業振興、まちづくりの取組を一層進めることにより、個性豊かな地域づくりが行われ、地域の人びとが誇りを持った魅力的な地域となることで、集客交流人口が増加するとともに、地域製品の販路拡大や商品開発等の促進が図られています。

県民指標			
目標項目	現状値	目標値	目標項目の説明
東紀州地域に係る1人あたりの観光消費額	27,559円 (22年度)	28,936円	東紀州地域において観光客が消費する1人あたりの平均利用額

平成 24 年度の取組方向

- 東紀州観光まちづくり公社が、東紀州地域の観光振興、産業振興およびまちづくりの取組を総合的に推進する地域のコーディネーターとしての役割を果たすよう引き続き支援します。また、地域製品の知名度向上および販路拡大等の取組を支援するとともに、地域資源を活用した滞在型・体験型観光を東紀州地域観光圏整備計画に基づいて推進します。
- 熊野古道センターでは、地域との連携を図りながら企画展や交流イベント等を展開することにより、情報収集・集積、情報発信、集客交流の機能を充実させていきます。また、紀南中核的交流施設では、季節に応じた魅力的な宿泊プラン等の設定、地域資源を活用した体験プログラムの実施や地域と連携したイベントの開催等により、集客交流の機能を充実させていきます。
- 台風 12 号等により被害を受けた東紀州地域の復興に向け観光キャンペーンや地域と一体となった交流イベントを行うとともに、世界遺産登録 10 周年や高速道路の概成などを契機としたイベントや観光キャンペーンの準備を進めます。また、奈良県や和歌山県と連携して広域観光を推進します。
- 市町や関係機関等と連携して東紀州地域の観光・産業の情報発信を充実するとともに、地域製品の販路拡大を支援します。
- 広域的な高速道路ネットワークを形成する紀勢自動車道および熊野尾鷲道路の整備促進を図るとともに、高速道路網等へのアクセス道路の整備を推進します。
- 東紀州地域の基幹産業である第一次産業の活性化に向けて、引き続き農業生産基盤の整備等を推進するとともに、地域の主産品であるかんきつ、尾鷲ヒノキ、マハタ等の高品質化および生産基盤強化のための研究開発を進めます。

主な事業

- ① 東紀州観光まちづくり推進事業（地域連携部南部地域活性化局）
【基本事業名：25201 地域の自立に向けた環境整備】
（第 2 款 総務費 第 6 項 地域振興費 1 地域振興費）
当初予算額：(23) 20,561 千円 → (24) 20,078 千円
事業概要：東紀州観光まちづくり公社において、観光商品づくりや

エージェンツセールスなどにより集客交流を図ります。
また、物産展のアテンド等を通じた販路開拓や地域の人の
びとによる自主的な地域づくりを支援します。

- ② 熊野古道センター運営事業（地域連携部南部地域活性化局）
【基本事業名：25202 地域資源を生かした集客交流】
（第 2 款 総務費 第 6 項 地域振興費 1 地域振興費）
当初予算額：(23) 71,522 千円 → (24) 66,675 千円
事業概要：熊野古道を核とする魅力ある企画展や地域と連携した交流イベントの実施、情報発信等により集客を図ります。
- ③ 紀南中核的交流施設整備事業（地域連携部南部地域活性化局）
【基本事業名：25202 地域資源を生かした集客交流】
（第 2 款 総務費 第 6 項 地域振興費 1 地域振興費）
当初予算額：(23) 285,474 千円 → (24) 285,397 千円
事業概要：事業者の独立採算により運営を行うことを条件とし整備等にかかる費用の一部を補助します。
- ④ 熊野古道伊勢路を結ぶしくみづくり事業（地域連携部南部地域活性化局）
【基本事業：25202 地域資源を生かした集客交流】
（第 2 款 総務費 第 6 項 地域振興費 1 地域振興費）
当初予算額：(23) 6,119 千円 → (24) 6,261 千円
事業概要：「熊野古道まちなか案内所」の設置や東紀州地域の観光・産業を中心とした情報誌の発行など、熊野古道伊勢路を通して歩くことができる環境を整備します。
- ⑤ （新）東紀州観光プロジェクト事業（地域連携部南部地域活性化局）
【基本事業：25202 地域資源を生かした集客交流】
（第 2 款 総務費 第 6 項 地域振興費 1 地域振興費）
当初予算額：(23) — 千円 → (24) 3,500 千円
事業概要：台風 12 号等により被害を受けた東紀州地域の復興に向け観光面の情報発信を行うとともに、熊野古道世界遺産登録 10 周年や高速道路の概成などを契機としたイベントや観光キャンペーンの実施に向け準備を進めます。

(新) 東紀州産品販路拡大支援事業(地域連携部南部地域活性化局)

【基本事業: 25203 地域資源を生かした産業振興】

(第2款 総務費 第6項 地域振興費 1 地域振興費)

当初予算額: (23) 千円 (24) 1,273千円

事業概要: 東紀州地域の一次産品を使った加工品等について、通信販売事業者等の商品メニューへの掲載を働きかけるなど販路拡大を支援します。

畑地帯総合農地整備事業(農林水産部)

【基本事業名: 31205 農業生産基盤の整備・保全】[再掲]

(第6款 農林水産業費 第3項 農地費 2 土地改良費)

当初予算額: (23) 73,500千円 (24) 84,000千円

事業概要: 東紀州の基幹産業であるかんきつ農業の活性化を図るため、みかん園地の用排水施設や農道等を整備します。